



いよいよ年末の一大イベント、クリスマスが、気温が下がってくるにつれ、だんだん盛り上がりつつありますね。

さて、「メリークリスマス」とは、どういう意味なのでしょう？「 Merry」「楽しい」とか「愉快な」という意味ですので、「楽しく愉快なクリスマス」って事ですね。

今年もまた、水際公園での、イルミネーションの灯りに照らされた木々や、ひょうたん島のライトアップ、周辺でのミニコンサートなどにワクワクできると思うと、とっても楽しみです。

また“水の都徳島”の冬の風物詩でもある、県庁前のヨットハーバー「ケンチヨピア」でも、約30艇のヨットがイルミネーションで彩られます。ツリー状のイルミネーションが、川面を照らし、なんとも言えない幻想的な雰囲気、毎年感動します。

皆様は、どのような素敵なクリスマスを過ごされますか？

来年も皆様にとって、良き年でありますように。

12月師走

I'm Professional.

LOTAS CLUB

ロータス林のわくわく通信

今年も一年間お世話になりました！

12月号

17年11月25日発行

なっちゃんの

“強いぞ、ディーパインパクト”

いや〜、10/23の菊花賞はエキサイトしましたね。

時に爆走する並外れた闘争心、圧倒的な強さで見る者を惹きつけ、どんな時も全力でぶっちぎりで勝つ強さ！

さて、ディーパインパクトは、2002年7月生まれの3歳馬。父がサンデーサイレンスという名馬であるにも関わらず、小柄で目立たなかった子馬の売買は、通常1億円以上といわれる血統のところ、7000万円で落札された馬でした。

当日は、観客数13万6千人。出走のファンファーレ。さあスタートです！！「ディーブ、いいぞいいぞ。良過ぎるスタートだ。おっと、スタート直後3コーナーから4コーナーの下り坂で、猛然と突進を始めた〜。武豊が堪える、堪える。ディーブを群馬の中に戻した。この日、最高の走りをしているアドマイヤジャパンは、速いペースで先行し、大きく差を広げ、逃げ切りの作戦。レース中盤、差は12馬身。慌てることなく、ディーブは後方に控えたまま。残り600m。まだスパートしない。ディーブ大丈夫か・・・。残り400m。ようやく武がスパートのサインを出した。おっと、ディーブ首を一段と低くした。やる気まんまん。外側から大きく出る出る。ごぼう抜きだ。正面観客席の大歓声を浴びながら2馬身差でゴ〜〜〜ルっ！！」ハラハラドキドキしましたね〜。

史上2頭目の無敗の三冠馬となったディーブの次走は、クリスマスの12/25、有馬記念に決まりました。

しかし、あの狭い中山競馬場に15万人以上のファンが殺到すると、圧死の恐れがあります。ここは、クリスマス的一大イベントとして、TVの前で、旗を振りながら大切な人と一緒に応援しましょう！！

クリスマス川柳



- ★角に鼻 トナカイ役の 犬ふきげん
- ★サンタ泣く コロコロ変えるな 欲しい物
- ★何でもいい 言ってたはずだよ 曇り顔
- ★薄目開け 父と目が合う 枕元
- ★おばあちゃん ツリーに短冊 やめてくれ
- ★残業を 拒んで帰るが 予定なし
- ★サンタさん 誰かと知って 泣いた夜
- ★サンタにも 予算があると 子を諭し

しばちゃんの おすすめ映画 “のど自慢”

たぶん、B級作品だろう。でも、すっごく面白い。

NHKの素人のど自慢を題材にした、のど自慢大会に出場する普通の人が持つ、普通のドラマを描いた大傑作。

主役は、売れない演歌歌手に室井滋。そのマネージャーに尾藤イサオ。何をやってもダメな脱サラ四十男に大友康平。濃すぎるタクシードライバーに竹中直人。鐘がいっしか鳴らない人も、鳴り響く人も、笑いあり、涙ありの、世代を問わない大衆映画。ぜひ、観て観て下さい。かなり可笑しいんだけど、なんかほろりとききます。

藤村正宏先生の “エクリプションマーケットینگ”

“銀座カルティエ本店前事件”

ある年のクリスマス。私(藤村先生)は、銀座カルティエ本店前にいた。何気なくショールームを覗いてみると、背後から男女の音が・・・。

(男)「どこで買ったのと同じだね」

(女)「ち・が・う・の。」「何がいの。」

なおも耳をダンボのように澄ましてみると、どうやらクリスマスに彼女が彼女に“カルティエ”の“タンク・フランセーズ”の時計をプレゼントするらしい。そしてここに来る前に立ち寄った“ドンキ”では、定価30万円相当の時計を8万円引きで、売っているらしかった。

だから、冒頭の会話になったんだけど、彼女は、その時計そのものが欲しいのではなく、カルティエ本店で、白い手袋をはいたスタッフに、ショールームから時計を出してもらい、最高級のもてなしを受けながら、彼にクリスマスプレゼントを買ってもらったという思い出が欲しかったのだ。その後、価値観の違う二人が、どうなったかは、知る由もなかった。

世に激論を巻き起こした “あらしのよるに”

--- ガブとメイの物語 ---

ついに、続編が出ました。本の題は“まんげつよるに”。やっぱりあのままでは終わらなかった。なんとガブは生きていた。ところがガブは“ふぶきのあした”で、雪崩に巻き込まれた衝撃で、記憶喪失になっている。二人の行く末は、希望の森か、はたまた哀しみの果てなのか・・・。6巻まで、もうすでにお買い求めのお母様は、お子様のクリスマスプレゼントにぜひどうぞ。

追加ですが、この物語はついに映画化され、12/10 封切りが決まりました。

なぜ、絵本がこんなにも話題になったのでしょうか・・・？この物語は、恋愛・友情・家族・社会・戦争・宗教・国家など、さまざまな角度に読み解ける普遍的な問いを投げかけています。

どうしても共に生きられない人を愛してしまったら、あなたならどうしますか？

(株)林自動車

〒770-0012 徳島市北佐古2番町4-44

TEL 088-631-6685 URL <http://www.lotashayashi.co.jp>

FAX 088-631-5151 E-mail info@lotashayashi.co.jp

